

大項目 B 地域の人々と協働して、特定の健康課題を解決・改善し、健康増進能力を高める

中項目	小項目	1) 適合度		2) 個人/家族を対象とした到達度		3) 集団/地域を対象とした到達度		4) 代替案、ご意見						
		1 適合	2 不適合	到達度の同意	到達度の到達度	到達度の同意	到達度の到達度							
B-b. 特定の健康課題を解決・改善し、健康増進能力を高めるために活動を展開する	21	1	2	1	2	1	2	I 実施できる	1	2	1	2	I ひとりで実施できる	II 指導のもとで実施できる
	22	1	2	1	2	1	2	I 実施できる	1	2	1	2	I ひとりで実施できる	II 指導のもとで実施できる
	23	1	2	1	2	1	2	I 実施できる	1	2	1	2	I ひとりで実施できる	II 指導のもとで実施できる
	24	1	2	1	2	1	2	II 指導のもとで実施できる	1	2	1	2	I ひとりで実施できる	II 指導のもとで実施できる
	25	1	2	1	2	1	2	III 学内演習で実施できる	1	2	1	2	I ひとりで実施できる	III 学内演習で実施できる
	26	1	2	1	2	1	2	IV 知識としてわかる	1	2	1	2	I ひとりで実施できる	IV 知識としてわかる
	27	1	2	1	2	1	2	I 実施できる	1	2	1	2	I ひとりで実施できる	I 実施できる
B-c. 特定の健康課題に対する活動を評価・フォローアップする	28	1	2	1	2	1	2	I 実施できる	1	2	1	2	I ひとりで実施できる	II 指導のもとで実施できる
	29	1	2	1	2	1	2	I 実施できる	1	2	1	2	I ひとりで実施できる	II 指導のもとで実施できる

注1 「集団/地域」とは、集団(自治会の住民、要介護高齢者集団、管理職集団、小学校のクラスなど)、地域(自治体、企業、学校など)の人々を示す。
 注2 「II 指導のもとで実施できる」は、指導係健師や教員の指導のもとで実施できることを示す。
 注3 「III 学内演習で実施できる」は、事例などを用いて模範的に計画を立てたり実施できることを示す。

大項目 B 地域の人々と協働して、特定の健康課題を解決・改善し、健康増進能力を高める

中項目	小項目	1) 適合度		2) 個人/家族を対象とした到達度			3) 集団/地域を対象とした到達度																			
		1 適合	2 不適合	到達度の同意		到達度の同意		①で「2同意しない」場合の到達度	②																	
				1 同意する	2 同意しない	1 同意する	2 同意しない																			
B-c. 特定の健康課題に対する活動の評価・フォローアップする	30 継続した活動（含フォローアップ）が必要な対象を判断する	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2					
		1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2					
	B-d. 特定の健康課題を解決・改善するために、地域の人々・関係者との協働	31 必要な対象に継続した活動（含フォローアップ）を行う	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		
		32 地域の人々とコミュニケーションをとりながら信頼関係を築く	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		
		33 地域の人々と必要な情報を共有し共通の活動目的を見出す	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		
	B-e. 特定の健康課題を解決・改善するために、地域の人々・関係者との協働	34 地域の人々と互いの役割を認め合いともに活動する	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		
		35 関係者・機関とコミュニケーションをとりながら信頼関係を築く	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		
36 関係者・機関と必要な情報を共有し共通の活動目的を見出す		1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2			
37 関係者・機関と互いの役割を認め合いともに活動する		1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2			
4) 代替案、ご意見				保健師国家試験受験資格を取得するために卒業時に全ての学生が習得すべき到達度（案）	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		
				保健師国家試験受験資格を取得するために卒業時に全ての学生が習得すべき到達度（案）	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		
				保健師国家試験受験資格を取得するために卒業時に全ての学生が習得すべき到達度（案）	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		
				保健師国家試験受験資格を取得するために卒業時に全ての学生が習得すべき到達度（案）	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		
				保健師国家試験受験資格を取得するために卒業時に全ての学生が習得すべき到達度（案）	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		
				保健師国家試験受験資格を取得するために卒業時に全ての学生が習得すべき到達度（案）	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
				保健師国家試験受験資格を取得するために卒業時に全ての学生が習得すべき到達度（案）	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
				保健師国家試験受験資格を取得するために卒業時に全ての学生が習得すべき到達度（案）	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
				保健師国家試験受験資格を取得するために卒業時に全ての学生が習得すべき到達度（案）	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
				保健師国家試験受験資格を取得するために卒業時に全ての学生が習得すべき到達度（案）	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
				保健師国家試験受験資格を取得するために卒業時に全ての学生が習得すべき到達度（案）	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2

注1 「集団/地域」とは、集団(自治会の住民、要介護高齢者集団、管理職集団、小学生のクラスなど)、地域(自治体、企業、学校など)の人々を示す。

注2 「II 指導のもとで実施できる」は、指導保健師や教員の指導のもとで実施できることを示す。

注3 「III 学内演習で実施できる」は、事例などを用いて模範的に計画を立てたり実施できることを示す。

大項目 C 地域の人々の健康を保障するために、生活と健康に関する社会資源の公平な分配を促進する

*大項目 Cは、2) 個人/家族と3) 集団/地域の区分がありません。

中項目	小項目	1) 適合度		2) 到達度					
		1 適合	2 不適合	到達度の同意	①で「2回実施しない」場合の到達度	②	到達度の到達度		
C-a. 地域の人々の健康にかかわる事業・制度などを立案し、管理する(施策化)	38	施策(事業・制度など)の根拠となる法や条例などを理解する	1	2	I ひとりで実施できる	1	2	I ひとりで実施できる	IV 知識としてわかる
	39	施策化に必要な情報を収集する	1	2	II 指導のもとで実施できる	1	2	I ひとりで実施できる	III 学内演習で実施できる
	40	施策化が必要である根拠について資料化する	1	2	II 指導のもとで実施できる	1	2	I ひとりで実施できる	IV 知識としてわかる
	41	施策化の必要性を地域の人々や関係する部署・機関に根拠に基づいて説明する	1	2	III 学内演習で実施できる	1	2	I ひとりで実施できる	III 学内演習で実施できる
	42	施策化のために、関係する部署・機関と協議・交渉する	1	2	IV 知識としてわかる	1	2	I ひとりで実施できる	IV 知識としてわかる
	43	地域の人々の特性・ニーズに基づき施策(事業・制度など)を立案する	1	2	IV 知識としてわかる	1	2	I ひとりで実施できる	IV 知識としてわかる
	44	組織(行政・企業・学校など)の基本方針・基本計画との整合性を図りながら施策(事業・制度など)を立案する	1	2	IV 知識としてわかる	1	2	I ひとりで実施できる	IV 知識としてわかる
	45	予算の仕組みを理解し、根拠に基づき予算案を作成する	1	2	IV 知識としてわかる	1	2	I ひとりで実施できる	IV 知識としてわかる
	46	施策(事業・制度など)の実施に向けて関係する部署・機関と協働し、活動内容と人材の調整(配置・確保など)を行う	1	2	IV 知識としてわかる	1	2	I ひとりで実施できる	IV 知識としてわかる
	47	保健医療福祉サービスが公平・円滑に提供されるよう継続的に評価・改善する	1	2	IV 知識としてわかる	1	2	I ひとりで実施できる	IV 知識としてわかる

4) 代替案、ご意見

注1「II 指導のもとで実施できる」は、指導保健師や教員の指導のもとで実施できることを示す。
注2「III 学内演習で実施できる」は、事例などをを用いて模範的に計画を立てたり実施できることを示す。

大項目 C 地域の人々の健康を保障するために、生活と健康に関する社会資源の公平な分配を促進する

*大項目 Cは、2)個人/家族と3)集団/地域の区分がありません。

中項目	小項目	1) 適合度		2) 到達度				
		1 適合	2 不適合	① 到達度の同意	② 「2回以上」の場合の到達度			
					I	II	III	IV
				1 同意する	I ひとりで実施できる	II 指導のもとで実施できる	III 学内演習で実施できる	IV 知識としてわかる
				2 同意しない	II ひとりで実施できる	III 指導のもとで実施できる	IV 学内演習で実施できる	知識としてわかる
				保健師国家試験受験資格を取得するために卒業時に全ての学生が習得すべき到達度(案)				
48	地域の人々の権利擁護のために個人情報適切に管理する	1	2	1	I ひとりで実施できる	II	III	IV
49	地域の人々の尊厳と権利・プライバシーを守る	1	2	1	I ひとりで実施できる	II	III	IV
50	論理的に検討・判断した上で実践する	1	2	1	I ひとりで実施できる	II	III	IV
51	自然および物理的環境(気候・公害など)の整備・改善について提案する	1	2	1	IV 知識としてわかる	I	II	III
52	地域の人々が組織や社会の政策に主体的に参画できるような機会と場、方法を提供する	1	2	1	IV 知識としてわかる	I	II	III
53	地域の人々や関係する部署・機関の間にネットワークを構築する	1	2	1	IV 知識としてわかる	I	II	III
54	広域的な健康危機管理体制(感染症・災害時など)を整える	1	2	1	IV 知識としてわかる	I	II	III
55	必要な地域組織やサービスを資源として開発する	1	2	1	IV 知識としてわかる	I	II	III
56	効率・効果的に業務を運営する	1	2	1	IV 知識としてわかる	I	II	III
57	研修の企画等を通して保健医療福祉サービスの質を高める	1	2	1	IV 知識としてわかる	I	II	III
58	社会情勢と地域の人々に応じた保健師活動の研究・開発を行う	1	2	1	IV 知識としてわかる	I	II	III

4) 代替案、ご意見

注1「II 指導のもとで実施できる」は、指導保健師や教員の指導のもとで実施できることを示す。
 注2「III 学内演習で実施できる」は、事例などを用いて模範的に計画を立てたり実施できることを示す。

本調査につきまして、ご意見などございましたら、ご記入下さい。

2回にわたる調査へのご協力、本当にありがとうございました。

お忙しいところ恐縮ではございますが、2月18日(月)までに、返信用封筒にてご投函をお願い致します。

なお、研究報告書は、4月頃に発送させていただく予定です。

この調査に関するご質問やお問い合わせがございましたら、下記までお願い致します。

担当：聖路加看護大学 地域看護学教室

連絡先： 〒104-0044 東京都中央区明石町10-1

TEL: 03-5550-2271～3 (直通)

FAX: 03-5565-1626

E-mail: chiiki-kango@slcn.ac.jp

★不在の場合、電話は留守番電話で対応しております。折り返しこちらからお電話致します。

★Eメールの返信は、月曜日、木曜日にさせていただきます。予定です。